

5. 20 年号・曜日日本語変換 (DATEJ)

Z A D A T E J

機 能

日付処理部品で出力される年号・曜日を、数字から日本語に変換し出力する。

呼び出し形式

一般形式

```
@ZDATEJ( { 1 } , INDATA, OUTDATA, RESULT );
```

1. 年号変換のとき

```
@ZDATEJ( 1, INDATA, OUTDATA, RESULT );
```

2. 曜日変換のとき

```
@ZDATEJ( 2, INDATA, OUTDATA, RESULT );
```

番号	パラメータ	指定データ名	I/O	データ属性	説 明
1	—	1 2	—	—	1 : 年号変換のとき 2 : 曜日変換のとき
2	INDATA	入力データ	I	9 (01)	年号変換のとき 1～5の数字 曜日変換のとき 1～7の数字
3	OUTDATA	出力データ	O	N (—)	年号のときはN (02) 曜日のときはN (01)で指定
4	RESULT	結 果	O	9 (01)	0 : 正常 9 : 年号変換で1～5, 曜日変換 で1～7以外が入力されたとき

説 明

- ・ 年号変換のときは“1”を指定し、INDATAは1～5までの数字とする。
曜日変換のときは“2”を指定し、INDATAは1～7までの数字とする。
- ・ INDATAに対応できない数字が入力された場合は、RESULTに“9”を設定する。
- ・ OUTDATAは、年号変換のときはN (02)、曜日変換のときはN (01)を指定する。
- ・ INDATAに対応する年号、曜日は次のとおりとする。

年号の場合

数 字	1	2	3	4	5
日本語	明治	大正	昭和	平成	令和

曜日の場合

数 字	1	2	3	4	5	6	7
日本語	日	月	火	水	木	金	土

利 用 例

日付処理部品で出力された数字項目を日本語に変換する。

- ① 年号 4
- ② 曜日 7

以下のように指定データを各々のパラメータに対応させる。

指定データ名	パラメータ
処理決定パラメータ	1 (①の場合) 2 (②の場合)
入力データ	P A R A M 0 1
出力データ	P A R A M 0 2 (①の場合) P A R A M 0 3 (②の場合)
結 果	R E T U R N C D

```
01 PARAM.
02 PARAM01 PIC 9(01).
02 PARAM02 PIC N(02).
02 PARAM03 PIC N(01).
```

以下にコーディング例を示す。

- ① 年号の変換の場合

```
PROCEDURE DIVISION.
PROC-S.
    MOVE SPACE      TO PARAM.
    MOVE 4           TO PARAM01.
    @ZADATEJ(1, PARAM01, PARAM02, RETURNCD);
    DISPLAY NC"処理決定パラメータ → " "1".
    DISPLAY NC"入力データ         → " PARAM01.
    DISPLAY NC"出力データ         → " PARAM02.
    DISPLAY NC"R E T U R N C D    → " RETURNCD.
PROC-E.
STOP RUN.
```

- ② 曜日の変換の場合

```
PROCEDURE DIVISION.
PROC-S.
    MOVE SPACE      TO PARAM.
    MOVE 7           TO PARAM01.
    @ZADATEJ(2, PARAM01, PARAM03, RETURNCD);
    DISPLAY NC"処理決定パラメータ → " "2".
    DISPLAY NC"入力データ         → " PARAM01.
    DISPLAY NC"出力データ         → " PARAM03.
    DISPLAY NC"R E T U R N C D    → " RETURNCD.
PROC-E.
STOP RUN.
```

(結 果)

- ① 年号の変換の場合

```
処理決定パラメータ → 1
入力データ         → 4
出力データ         → 平成
R E T U R N C D    → 0
```

- ② 曜日の変換の場合

```
処理決定パラメータ → 2
入力データ         → 7
出力データ         → 土
R E T U R N C D    → 0
```